

1. 「株価収集」と「鉤足分析」の共通部の操作説明
2. 「株価収集」の操作説明
3. 「鉤足分析」の操作説明
4. 「鉤足分析」の分析項目一覧
5. 「株価収集」と「鉤足分析」の処理時間

# 『株価収集』と『鉤足分析』の共通部の操作説明

「株価収集」ツール、または「鉤足分析」ツールを使用する為に必要な、機能概要を説明します。  
(以下、ツールは省略。両方の処理を略して当アプリと称する場合もあります)

## 1. 画面の説明

### 1) 認証画面

試用版では表示されませんが、**ライセンス版では下記の画面が表示されます。**  
ライセンスを購入し、ライセンス番号を入手して、この画面に入力して下さい。

正しいライセンス番号を入力すると、下記のメッセージが表示され、次回からは認証画面は表示されません。

・画面は、「株価収集」が正常に認証された時に表示しているものです。

### 2) 通常の操作画面

- A. 画面の説明：画面は、**青枠の部分**を「メニュー」、**赤枠を「各機能画面」と**しています。  
B. ボタンの色：ボタンの色は青（水色）・黄・赤で表示しており、意味は以下の通りです。

a) 青：普通に操作して問題ない処理

b) 黄：少々注意が必要な処理（キャンセルや、データを初期化する場合等）

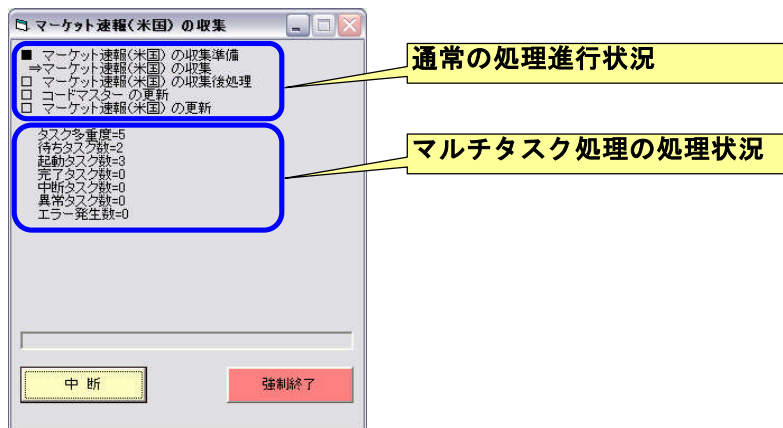
c) 赤：通常は行う事が無い処理（終了ボタンは解りやすく赤にしています）

・画面は、「株価収集」のものであります。

# 『株価収集』と『鉤足分析』の共通部の操作説明

## 3) 処理実行中の画面 1

「株価収集」の収集処理、または「鉤足分析」の鉤足判定処理は、大量のデータ処理を行う為、時間が掛かります。この為、何処まで処理が進んでいるか解る様に、大雑把ですが進行状況を表示します。



・画面は、「株価収集」で「マーケット速報(米国)」を収集している時のものです。

### A. 通常の処理進行状況

- a) ■ : 終了した処理
- b) ⇒ : 実行中の処理
- c) □ : 未処理

### B. マルチタスク処理の処理状況

処理時間の短縮を図る機能を実装しており、全企業を複数タスクに分割して処理を行います。マルチタスク処理中は以下のメッセージが表示されます。

- a) タスク多重度 : 子タスクの最大実行可能です。詳細は環境設定画面の説明をご参照。
- b) 待ちタスク数 : タスクの未処理数です。
- c) 起動タスク数 : 処理中のタスク数です。
- d) 完了タスク数 : 処理が終了したタスク数です。
- e) 中断タスク数 : 中断ボタンを押下した場合は、中断したタスク数をここに表示します。
- f) 異常タスク数 : 子タスクが異常終了した場合にここにカウントされます。
- g) エラー発生数 : 子タスクが異常終了した回数を加算していきます。

収集処理では、インターネットの接続状態や、情報提供サイトの状況、またはPCに掛かる負荷により、エラーが発生する事があります。この様なエラーの場合は、リトライする事で解消する場合が多いので、50回のリトライ機能を設けています。

### C. ボタンの意味

- a) 「中断」ボタン  
実行中の処理を中断します。  
中断した処理は、もう一度処理ボタンを押下するか、「その他の機能」の「中断中の処理を再開」ボタンを押下する事で、中断したところから処理を再開します。  
中断した後に、処理を無効にしたい場合は「その他の機能」の「実行環境のリセット」ボタンを押下する事で、処理開始前の状態に戻ります。
- b) 「強制終了」ボタン  
処理中の操作を無効にして、実行前の状態に戻す場合に使用します。  
また、収集処理（子タスク）が異常終了した場合等、処理が終了しなくなった場合等に使用します。

### D. 用語の補足

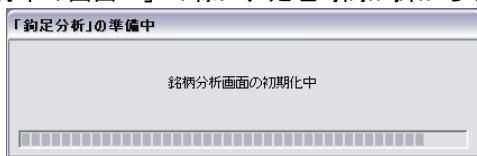
- a) 子タスク  
「株価収集」の収集処理、または「鉤足分析」の鉤足判定処理は、処理を複数起動して処理時間の短縮を図っていますが、当アプリケーションでは、この起動された処理を「子タスク」と称します。
- b) コードマスター  
当アプリの制御情報で、各国の企業一覧を集約した、システム的な情報です。

# 『株価収集』と『鉤足分析』の共通部の操作説明

## 4) 処理実行中の画面 2

これも処理の進行状況を表示する画面です。

「処理実行中の画面 1」の様に、処理時間が掛からない場合に使用しています。

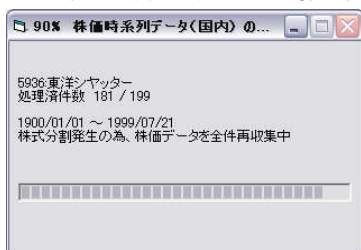


・画面は、「鉤足分析」の起動時に表示しているものです。

## 5) 子タスク実行中の画面

子タスクが起動された時の画面です。

処理データ量が多い為、進行状況が解る様にしてあります。



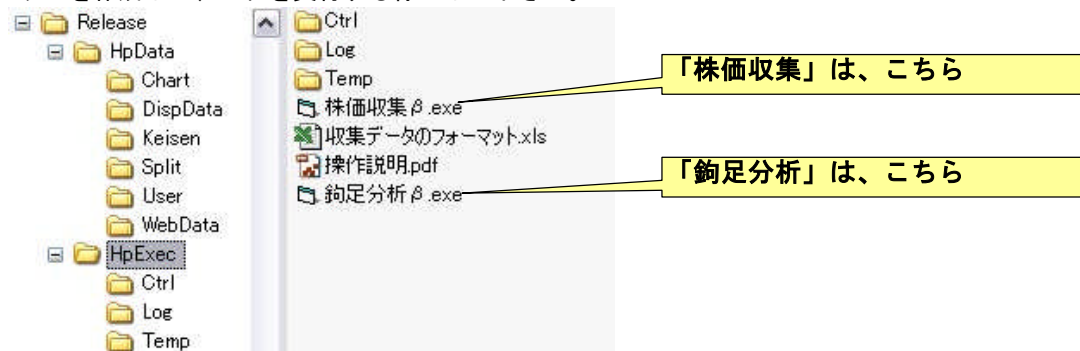
・画面は、「株価収集」の株価時系列データを収集しているものです。

## 2. 注意事項

- 1) 当アプリは、複数タスクで対照のデータを処理します。特に株価時系列データは国内・米国・中国を合わせると14,000ファイル（分割情報を合わせると20,000ファイル）以上のデータを生成します。
- 2) 上記の理由により、エクスプローラ等でフォルダを参照する場合には時間が掛かりますので、予めご了承下さい。
- 3) 収集処理中等にエクスプローラ等でフォルダを参照する事は、PCにかなり負荷を掛ける事になり、PCのフリーズや想定外のエラーを引き起こす事になりますので、処理中は当アプリ（データ）を格納しているフォルダの参照は避けて下さい。

## 3. 起動方法

- 1) 「¥HpExec」フォルダにある「**株価収集.exe**」または「**鉤足分析.exe**」を実行して下さい。  
（試用版の場合は「**株価収集β.exe**」または「**鉤足分析β.exe**」になります）
- 2) 注意事項にも記載しました通り、フォルダの参照には時間が掛かりますので、デスクトップにショートカットを作成して、これを実行する様にして下さい。

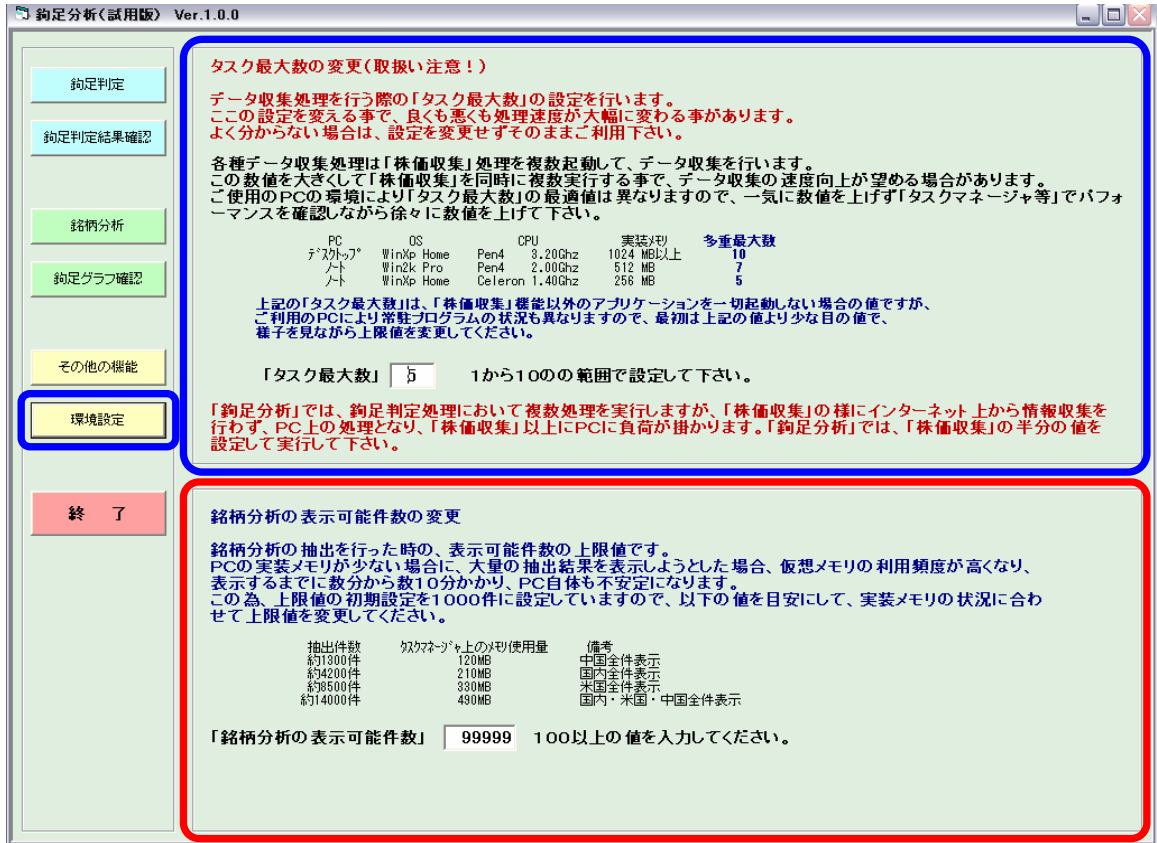


・画面は、試用版の圧縮ファイルを解凍したものです。

# 『株価収集』と『鉤足分析』の共通部の操作説明

## 4. ご利用前の準備（環境設定）

当アプリの初回起動時に、メニューの「環境設定」ボタンを押下して、画面の説明を読んで設定して下さい。



・画面は、「鉤足分析」のもので。

・「株価収集」のメニューとは異なりますが、「株価収集」のメニューにも「環境設定」があります。

### 1) タスク最大数の設定に関する注意事項（機能画面の青枠の部分）

- 「環境設定」画面は「株価収集」と「鉤足判定」で共通ですが、設定した値は別々に管理されます。
- 「鉤足分析」の鉤足判定処理は、「株価収集」の収集処理に比べてPCに掛かる負荷が大きい為（インターネットとの通信中に発生する待ち状態が無い）、「株価収集」で設定した値の半分程度を目安にして下さい。

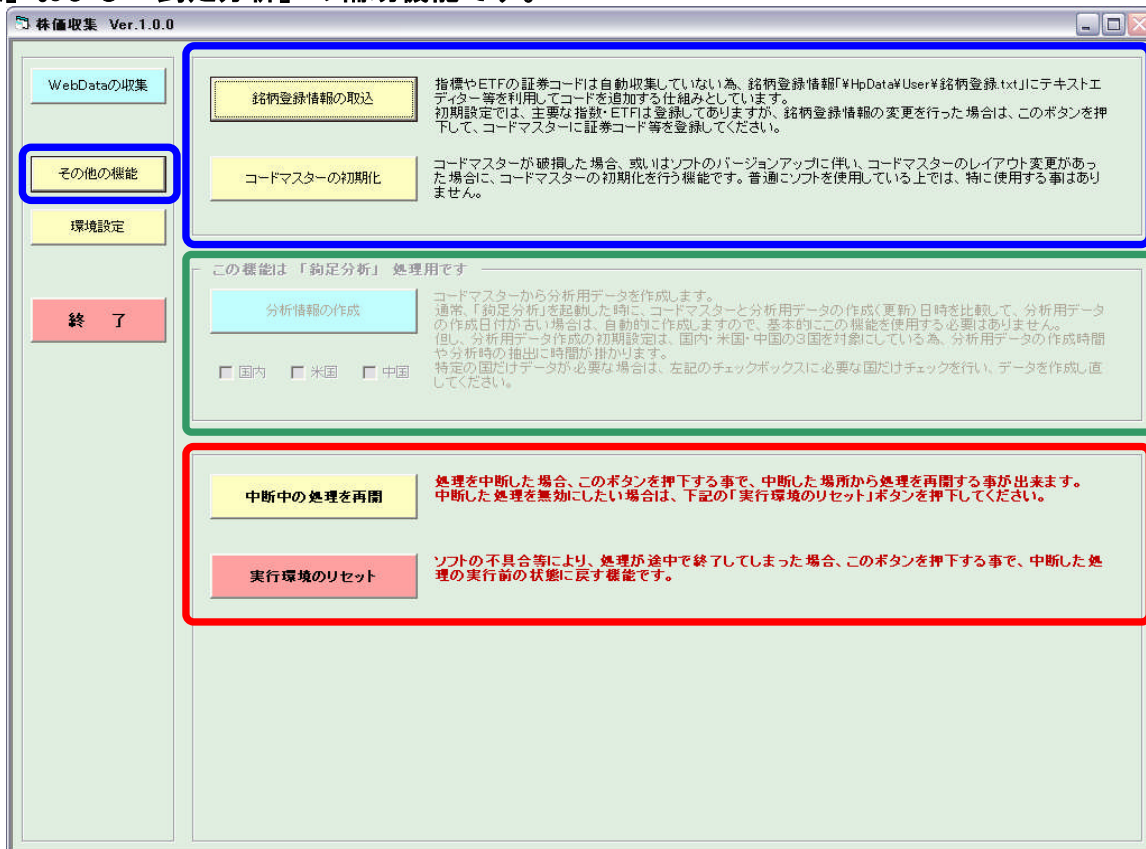
### 2) 銘柄分析の表示可能件数の設定（機能画面の赤枠の部分）

当機能は「鉤足分析」のもので。

- 銘柄分析の抽出を行った時の表示最大件数の設定を行って下さい。
- 画面上で説明している参考値は、表示可能項目を全て表示した場合の状態で測定しています。
- 表示項目を少なくする事で、メモリの消費を抑える事も出来るので、ご利用して頂く中でご利用のPCに合った最適値を見つけて下さい。

# 『株価収集』と『鉤足分析』の共通部の操作説明

## 5. 「その他の機能」の説明 「株価収集」および「鉤足分析」の補助機能です。



・画面は、「株価収集」のもので。

・「株価収集」のメニューとは異なりますが、「鉤足分析」のメニューにも「環境設定」があります。

### 1) 「株価収集」の補助機能（機能画面の青枠の部分）

#### A. 銘柄登録情報の取込

指標やETFの証券コード、中国の業種は自動収集していない為、「銘柄登録.txt」にテキストエディター等を利用してコードを追加し、「銘柄登録情報の取込」ボタンを押下すると、コードマスターに情報が登録されます。

詳細は、株価収集の使用方法的「2. その他の機能の「銘柄登録情報の取込」」に記載していますので、そちらをご参照下さい。

#### B. コードマスターの初期化

コードマスターが破損した場合、或いはソフトのバージョンアップに伴い、コードマスターのレイアウト変更があった場合に、コードマスターの初期化を行う機能で、普段使用する事はありません。

ソフトのバージョンアップに伴い、コードマスターの初期化が必要な場合は、バージョンアップのご連絡とあわせてお知らせ致します。

### 2) 「鉤足分析」の補助機能（機能画面の緑枠の部分）

「鉤足分析」で使用する分析情報の作成条件の変更機能です。

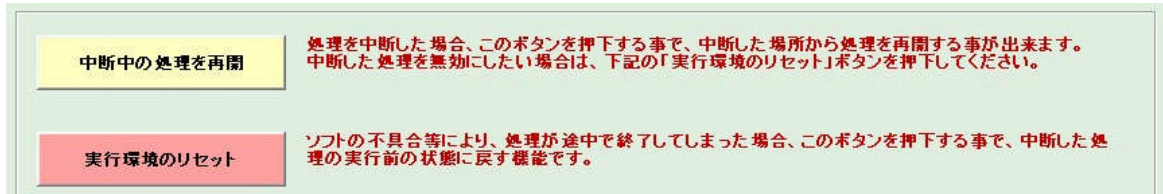
当アプリでは、国内・米国・中国の3国のデータを取扱っている関係上、処理時間が掛かります。この機能は、「鉤足分析」の銘柄分析機能で、データのスクリーニング速度を上げる事が出来ます。

詳細は、鉤足分析機能の使用説明の「分析情報の作成に関するヒント」に記載していますので、そちらをご参照下さい。



# 『株価収集』と『鉤足分析』の共通部の操作説明

## 3) 「株価収集」および「鉤足分析」の共通補助機能（機能画面の赤枠の部分）



### A. 中断中の処理を再開

以下の状況が発生した場合に、中断した場所から処理を再開出来ます。

a) 実行中の処理を利用者が中断した場合。

b) 収集処理の途中で異常終了した場合、等。

当アプリは、マルチタスク処理を行う為、P Cに対して負荷が掛かります。

ご利用のP Cのスペックを超える様なタスク最大数を設定して処理を行った場合、エラーが発生する事があります。

この様な場合は、タスク最大数を少なく変更した上で、中断中の処理を再開する事で、問題が解決する場合があります。

### B. 実行環境のリセット

以下の状況が発生した場合に使用します。

a) 実行中の処理を無効にしたい場合。

b) 異常終了後の中断中の処理再開でも問題が解消しない場合。

実行環境のリセットを行った上で、再度処理を行っても問題が解消しない場合は、申し訳ありませんが、開発者へ障害状況をご連絡下さい。

以上で共通部分の説明は終わりますが、ホームページのFAQも更新して行きますので、こちらをあわせてご参照下さい。

ホームページ

株価（株式情報）の自動収集と柴田野線の鉤足分析ツール

<http://www.geocities.jp/kagibunseki/Index.html>

# 『株価収集』の操作説明

「株価収集」ツールの操作方法、および収集したデータについて説明します。  
(以下、ツールは省略。)

## 1. 「WebDataの収集」画面の説明

「株価収集」を起動すると、最初に表示される画面が収集画面です。

収集画面は、大別すると「基本情報の収集」と「株価時系列データの収集」に分かれます。



# 『株価収集』の操作説明

## 1) 基本情報の収集（機能画面の青枠の部分）

【基本情報の収集】

為替情報 <input type="button" value="個別収集"/> <input checked="" type="checkbox"/> 為替情報	企業一覧の収集 <input type="button" value="個別収集"/> <input type="checkbox"/> 国内 <input type="checkbox"/> 米国 <input type="checkbox"/> 中国	企業情報の収集 <input type="button" value="個別収集"/> <input checked="" type="checkbox"/> 国内 <input checked="" type="checkbox"/> 中国
マーケット速報の収集 <input type="button" value="個別収集"/> <input checked="" type="checkbox"/> 国内 <input checked="" type="checkbox"/> 米国 <input checked="" type="checkbox"/> 中国	その他の情報の収集 <input type="button" value="個別収集"/> <input checked="" type="checkbox"/> ロイター業種	

☒ マーケット速報の収集時に、当日分の株価時系列データも作成する  
この株価時系列データは、日中に当日分の株価時系列データが提供されていない為の措置です。  
(株価時系列データは、暫定データという意味で「\*」のマークを付けています。)  
株価時系列データの収集で、データが取得出来る様になれば、暫定データを上書きします。

### A. 収集対象のデータ

「基本情報の収集」では、以下の情報が収集対象になります。

- a) 為替情報（中国元・米ドル・香港ドル・台湾ドル・ユーロ・英国ポンドを収集）
- b) 企業一覧（国内・米国・中国（香港）・中国（B株））
- c) 企業情報（国内・中国）
- d) マーケット速報（国内・米国・中国）
- e) ロイター業種（国内）

収集データの詳細については、当ホームページの「株価収集の概要」をご参照下さい。

<http://www.geocities.jp/kagibunseki/Index.html>

### ※ マーケット速報からの株価時系列データ収集

日中は、当日分の株価時系列データが反映されない為、マーケット速報から自動的に生成する機能を設けました。日中に、当日分の株価時系列データが欲しい場合は、チェックしてからマーケット速報を収集して下さい。

☒ マーケット速報の収集時に、当日分の株価時系列データも作成する  
この株価時系列データは、日中に当日分の株価時系列データが提供されていない為の措置です。  
(株価時系列データは、暫定データという意味で「\*」のマークを付けています。)  
株価時系列データの収集で、データが取得出来る様になれば、暫定データを上書きします。

### B. 収集方法

- a) 収集対象のデータのチェックボックスにチェックをつけます。
- b) 「個別収集」ボタン、または「まとめて収集」ボタンを押下して下さい。  
「個別収集」ボタンは、必要な情報を収集したい時にご利用頂き、一括して収集したい場合は「まとめて収集」ボタンを押下して下さい。  
基本情報と株価時系列データをまとめて収集したい場合は、画面右下の「全部まとめて収集」ボタンを押下して下さい。

注意:「株価収集」は、コードマスター(当アプリ用の企業一覧)を基準に処理を行います。

ライセンス版をご購入された場合は、このコードマスターが存在しない為、必ず企業一覧の収集を最初に実施して下さい。試用版については、配布データに収録しているので問題ありません。(試用版の制限事項として、特定の企業しか取り扱えません)

## 2) 株価時系列データの収集（機能画面の赤枠の部分）

【株価時系列データの収集】

収集方法

☐ 全て
☒ 国の選択

国の選択

☐ 国内銘柄（指標情報を含む）  
☐ 米国銘柄（指標情報を含む）  
☒ 中国銘柄（指標情報を含む）

収集データ

☒ 日足

収集する日付(期間)

☒ 最終取得日から処理日まで  
☐ 全て収集し直す  
☐ 期間指定  

開始日付

1900/01/01

～

終了日付

2006/08/25

☐ 過去データ(未収集分)

☒ バックアップファイルを作成する  
分割が発生した場合に、今までの株価時系列データのバックアップ(bak)を作成するか否かを指定します。

収集済のデータと、新たに収集したデータの日付が重複した場合は、新たに収集したデータで株価時系列データを上書きします。

株価時系列データの収集

### A. 収集対象のデータ

国内・米国・中国の日足の株価時系列データが収集対象です

収集データの詳細については、当ホームページの「株価収集の概要」をご参照下さい。

### B. 収集パラメータの説明

#### a) 収集方法

- ・ 全て：国内、米国、中国のデータを収集します。
- ・ 国の選択：国の選択でチェックボックスにチェックした国を対象に収集します。

#### b) 国の選択

収集方法で、国の選択を選んだ場合に有効になり、選ばれた国のデータのみ収集します。

#### c) 収集データ

日足が対象になります。

#### d) 収集する日付

- ・ 最終取得日から処理日まで  
各企業の株価収集データの最終日以降を収集します。  
データが存在しない場合（初回の収集）は、全てのデータを収集します。  
通常はこの項目にチェックを入れていれば、問題なく日々のデータを収集します。
- ・ 全て収集し直す  
収集済のデータを無視して、全てのデータを収集します。
- ・ 期間指定  
開始日付から終了日付までの期間のデータを収集します。
- ・ 過去データ（未収集分）  
収集済データの一番古い日付以前のデータを収集します。  
株価時系列の初回収集時は、情報提供サイト側の問題により（混雑等）、企業単位に途中で終わってしまう場合があります。**初回データ収集後は、この過去データの収集を行って、取りこぼしデータのリカバリーを行って下さい。**

#### e) バックアップデータの作成

株式分割が発生した場合は、株価時系列データを全件再収集します。この時、分割前の株価時系列データのバックアップが必要か否かを指定します。当アプリではバックアップデータを使用することはありませんので、お客様が必要に応じて設定して下さい。

### C. 収集方法

- 株価時系列データの収集のみ行いたい場合は、「株価時系列データの収集」ボタンを押下して下さい。
- 基本情報と株価時系列データをまとめて収集したい場合は、画面右下の「全部まとめて収集」ボタンを押下して下さい。

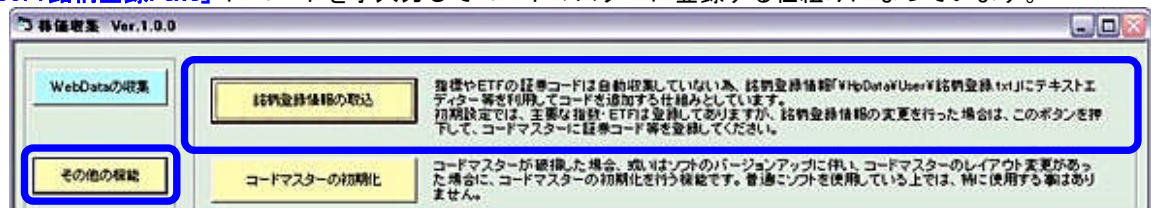
### D. 補足（株価時系列データの初回収集時の考慮）

株価時系列データの初回収集は、データ量も多く非常に時間が掛かりますので、収集後にバックアップを取る事をお勧めします。

処理時間は、「『株価収集』と『鉤足分析』の処理時間」をご参照下さい。

## 2. その他の機能の「銘柄登録情報の取込」

「株価収集」では、一部のコードについて自動収集を行っていないので、代わりにテキストファイル  
「¥HpData¥User¥銘柄登録.txt」にコードを手入力してコードマスターに登録する仕組みになっています。



手入力が必要なコード。

- ・ 市場（「鉤足分析」のスクリーニングで使します）
- ・ 市場詳細（「鉤足分析」のスクリーニングで使します）
- ・ 指標
- ・ E T F
- ・ 中国のセクター（「鉤足分析」のスクリーニングで使します）
- ・ 中国の業種（「鉤足分析」のスクリーニングで使します）

主なコードは事前に登録済ですが、コードを追加したい場合は、「¥HpData¥User¥銘柄登録.txt」に記載済みのコードを参考にテキストファイルを修正の上、「銘柄登録情報の取込」ボタンを押下して下さい。

試用版では、この機能の提供を行っておりません。

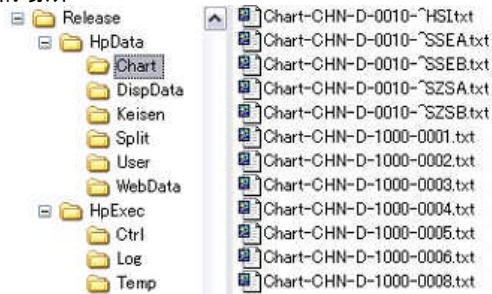
# 『株価収集』の操作説明

## 3. 収集したデータについて

### 1) 収集データの格納場所

#### A. 株価時系列データ

##### a) 格納場所



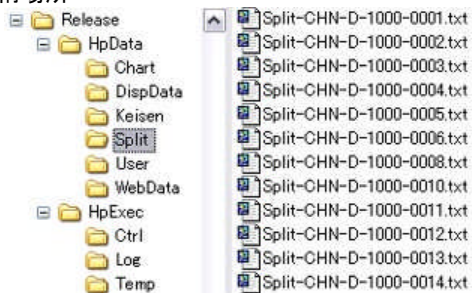
・上記フォルダは、試用版の圧縮ファイルを解凍したものです。

##### b) ファイル名のルール (Chart-CHN-D-0010-~HSI.txt を例に説明)

- ・ Chart : 株価時系列データ (固定)
- ・ CHN : 国の識別 国内 : JPN、米国 : USA、中国 : CHN
- ・ D : 足の種類 D : 日足固定 (当アプリでは、日足のみ収集可能)
- ・ 0010 : 投資区分 当アプリでは、投資区分と称してデータの種類の種類により区分を設けています。投資区分には以下の種類がありますが、株価時系列で使用している区分は 0010 : 指標と 1000 : 企業の 2 種類です。  
0010 : 指標、0020 : 市場、0030 : 市場詳細、0040 : セクター、  
0050 : 業種 1、0060 : 業種 2 (ロイター)、1000 : 企業
- ・ ~HSI : 企業コード

#### B. 株価時系列データの分割情報

##### a) 格納場所



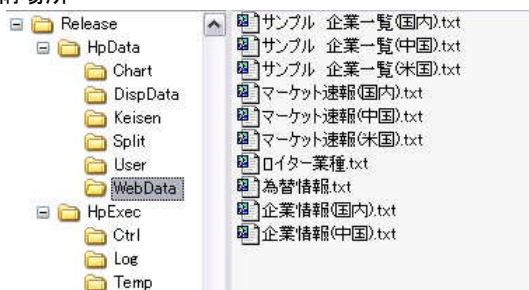
・上記フォルダは、試用版の圧縮ファイルを解凍したものです。

##### b) ファイル名のルール

先頭の「Split」が固定で、その他の項目は株価時系列データと同じルールです。

#### C. 上記以外の収集情報

##### a) 格納場所



・上記フォルダは、試用版の圧縮ファイルを解凍したものです。

##### b) ファイル名のルール

為替情報.txt、企業一覧(XX).txt、企業情報(XX).txt、マーケット速報(XX).txt、ロイター業種.txt

・XXには国が入ります。

・企業一覧の収集は、試用版では提供していませんが、参考にライセンス版で収集した企業一覧を収録しています。

# 『株価収集』の操作説明

---

## 2) 収集データの区切り文字

「株価収集」で収集したデータは、全て T a b 区切りになっています。

## 3) 収集データのレイアウト

### A. E x c e l をお持ちの方

「¥HpExec」に収録している「[収集データのフォーマット.xls](#)」をご参照下さい。

### B. E x c e l をお持ちで無い方

「¥HpExec」に収録している「[収集データのフォーマット.pdf](#)」をご参照下さい。

## 4. 処理時間（収集時間）

処理時間は、「[「株価収集」と「鉤足分析」の処理時間](#)」をご参照下さい。

以上で「株価収集」の説明は終わりますが、ホームページの F A Q も更新して行きますので、こちらもあわせてご参照下さい。

ホームページ

株価（株式情報）の自動収集と柴田野線の鉤足分析ツール

<http://www.geocities.jp/kagibunseki/Index.html>



# 『鉤足分析』の操作説明

「鉤足分析」ツールの操作方法について説明します。  
(以下、ツールは省略。)

## 1. 「鉤足分析」の概要

「鉤足分析」は「株価収集」で収集した情報から**分析情報**を作成して、スクリーニングを行う機能です。  
また、収集した株価時系列データを使用して、柴田野線の鉤足法則判定も可能で、スクリーニング項目としても利用可能です。

### 1) 分析情報の作成

#### A. 分析情報の作成タイミング

「分析情報」は以下のタイミングで作成されます。

##### a) 「鉤足分析」の起動時

作成済の「分析情報」と、収集した情報の日付を比較して、「分析情報」が古い場合は作成し直します。

##### b) 「銘柄分析」画面で抽出ボタンを押下

作成済の「分析情報」と、収集した情報の日付を比較して、「分析情報」が古い場合は作成し直します。

(「銘柄分析」を使用している裏で、「株価収集」で情報収集している時の考慮です。)

##### c) 鉤足判定処理を行った直後

#### B. 分析情報の作成に関するヒント

分析情報の作成は、初期設定の状態では国内・米国・中国の3国を対象にしていますが、分析情報の作成、および「銘柄分析」の抽出処理で非常に時間が掛かります。

これを回避する方法として、分析情報の作成対象の国を選択する事が出来ます。例えば「私は国内だけのスクリーニングだけ出来れば良い」と言う場合は、国内だけの分析情報を作成出来ます。

(国内だけの分析情報にした場合は、全体の約1/3の情報量になるので、処理スピードが向上します。)

メニューの「その他の機能」を押下して、必要な国にチェックをつけて、分析情報の作成を行って下さい。

コードマスターから分析用データを作成します。  
通常、「鉤足分析」を起動した時に、コードマスターと分析用データの作成(更新)日時を比較して、分析用データの作成日付が古い場合は、自動的に作成しますので、基本的にこの機能を使用する必要はありません。  
但し、分析用データ作成の初期設定は、国内・米国・中国の3国を対象としている為、分析用データの作成時間や分析時の抽出に時間が掛かります。  
特定の国だけデータが必要な場合は、左記のチェックボックスに必要な国だけチェックを行い、データを作成し直してください。

## 3) 鉤足判定方法

### A. 鉤足法則の判定方法

鉤足法則の判定方法は、二通りの方法がありますので、用途に合わせてご利用下さい。

#### a) 「鉤足判定」機能を利用する

処理時間は掛かりますが、国別に全企業の鉤足判定を行い、「鉤足判定結果確認」用のデータ作成、およびスクリーニング項目の更新を行います。

#### b) 銘柄分析で抽出されたリストから対象の企業を選択して鉤足グラフを表示

鉤足グラフの表示は、常に株価時系列データを利用して鉤足法則判定を行っています。

取り敢えず、「鉤足判定結果確認」用のデータ作成も、スクリーニング項目の更新も必要なく、

鉤足法則の判定結果を見たい、と言う場合はこちらの方が時間が掛からず便利です。

### B. 「鉤足判定」機能に関するヒント

「鉤足判定」処理の集計(「鉤足判定結果確認」用のデータ作成)は、大量のデータを取り扱うので、非常に処理時間が掛かり、メモリの消費も大きいです。

これを回避する方法として、「鉤足判定結果の集計範囲」を指定して、集計範囲を絞り込む事が出来ます。

PCの実装メモリが少ない場合や、過去の鉤足判定結果の集計結果は不要と言った場合にご利用下さい。

鉤足判定

判定開始

☒ 国内 ☒ 米国 ☒ 中国

鉤足判定結果の集計範囲  
全体



# 『鉤足分析』の操作説明

## 2. 各機能画面の説明

### 1) 「鉤足判定」画面の説明

「鉤足判定」では、鉤足グラフの法則名の表示設定、法則の判定条件の変更、鉤足判定を行います。

#### A. 鉤足グラフの表示設定

##### a) 基本条件の表示設定 (機能画面の赤枠の部分)

鉤足グラフに、基本条件名称を表示したい場合にチェックして下さい。

##### b) 法則の表示設定 (機能画面の青枠の部分)

法則名称を表示したい場合にチェックして下さい。

「法則の判定条件」の「同一法則の同時(連続)出現は、転換扱いとしない」がチェック状態の場合は、法則番号は表示されず、「ろさ・ろく・ろゑ・ろあ」と表示されます。

#### B. 法則の判定条件 (機能画面の緑枠の部分)

主に基本条件の判定条件に影響するパラメータを変更出来る様にしています。

初心者の方は、初期設定のままで法則判定を行って下さい。

#### C. 鉤足判定 (機能画面の紫枠の部分)

鉤足判定処理では、企業毎の鉤足法則判定を行い、現在の転換方向や損益額等の計算を行います。

また、企業毎の鉤足法則判定結果を集計し、「鉤足判定結果確認」画面用のデータを生成します。

鉤足判定の実行は、鉤足判定を行いたい国にチェックし、「判定開始」ボタンを押下して下さい。

#### D. 注意事項

鉤足集計結果の作成は、PCメモリを大量に消費する上、かなり処理時間が掛かります。

これを回避する方法として、「鉤足判定結果の集計範囲」を指定出来る様になっています。

これは、鉤足判定結果の集計を直近日付から何年分集計するというもので、メモリの少ないPC環境で実行する場合や、過去の鉤足判定結果を集計対象としない場合にご利用下さい。

初期値の状態で行う場合は、メモリが256MBあれば問題ありませんが、例えば長大線の掛け率を15%以下にした場合は、ろく・ろゑ法則の発生回数が増え、これに伴い転換発生回数も増えて、集計処理のデータ量の増加につながり、メモリが256MBでは足りないケースも出て来ますので、鉤足法則のシミュレーションを目的としてご購入頂く場合は、512MB以上のメモリが実装されているPCを推奨します。

# 『鉤足分析』の操作説明

## 2) 「鉤足判定結果確認」画面の説明

この機能は、企業毎に発生した転換情報を下記の項目で集計し、鉤足法則判定結果の的中率がどれ程のものか検証する為のものです。

集計単位は、国別に陰陽（売買単位に集計し、全体の的中率を把握）から、法則発生年単位（同一法則が年代毎にどのような変化を辿っているか把握する目的）までの5段階に分けています。

集計単位

- ・ Level1 : 陰陽
- ・ Level2 : 陰陽・発生状況
- ・ Level3 : 陰陽・発生状況・法則
- ・ Level4 : 陰陽・発生状況・法則・法則詳細
- ・ Level5 : 陰陽・発生状況・法則・法則詳細・法則発生年

集計単位の項目説明

- ・ 陰陽（売買） : 法則転換方向
- ・ 発生状況 : 2法則同時発生か否か
- ・ 法則 : ろさ・ろく等、番号を除いた単位
- ・ 法則詳細 : ろさ第1・ろさ第2等、番号を含めた単位
- ・ 法則発生年 : 転換時の年

赤枠が抽出条件の設定、青枠が抽出結果、緑枠が青枠の明細をダブルクリックした時に表示される明細です。更に緑枠内の明細をダブルクリックすると、鉤足グラフ確認画面に遷移します。

抽出条件

国の選択(選択必須) JPN 集計単位の選択(選択必須) Level4: 陰陽・転換出現状況・法則・法則詳細 法則選択(任意)

抽出

鉤足判定結果確認

銘柄分析

鉤足グラフ確認

その他の機能

環境設定

終了

(1) 法則転換結果の集計情報

昇順 降順 日付降下で切替

転換出現状況	転換日付(年)	転換回数計	転換回数(益)	転換回数(損)	転換回数率	転換損益率計	転換損益率(益)	転換損益率(損)	転換損益率
同時	-	59	34	25	+15.26%	+1,755.44%	+1,614.44%	-141.00%	+83.94%
連続	-	47	27	20	+14.90%	+1,732.73%	+1,525.81%	-206.91%	+76.12%
連続	-	64	30	34	-6.24%	+1,080.97%	+807.72%	-273.25%	+49.44%
同時	-	45	24	21	+6.66%	+892.86%	+729.16%	-163.70%	+56.82%
同時	-	61	24	37	-21.32%	+879.40%	+503.89%	-375.51%	+14.60%
連続	-	5	3	2	+20.00%	+750.88%	+742.15%	-8.73%	+97.72%
同時	-	40	20	20	-50.00%	+733.33%	+545.55%	-187.78%	+50.02%
連続	-	25	10	15	-20.00%	+424.07%	+262.43%	-161.64%	+96.16%
連続	-	22	12	10	+54.55%	+397.43%	+300.33%	-97.10%	+23.76%
連続	-	8	5	3	+25.00%	+342.83%	+312.67%	-30.17%	+61.14%
連続	-	21	9	12	-14.29%	+305.35%	+150.78%	-154.57%	+82.40%
同時	-	15	4	11	-46.67%	+285.58%	+218.18%	-67.41%	+15.28%
同時	-	9	8	1	+77.78%	+283.52%	+257.01%	-26.51%	+52.80%
同時	-	3	3	0	+100.00%	+164.79%	+164.79%	+0.00%	+81.80%

Level4・5で抽出した場合に、この明細をダブルクリックすると、集計前の明細が下の緑枠に表示されます。

(2) 転換の詳細情報

昇順 降順 日付降下で切替

No.	国	投資区分	市場	市場詳細	セクター	業種	ローター	企業コード	転換日付	陰陽区分	発生区分	転換額	転換損益額	転換率
0049	JPN	1000	0100	0110	0007	0025	0121	4689	20021203	買	連続	12,061,000	+7,772,000	+64.4%
0024	JPN	1000	0100	0110	0004	0016	0092	6758	19950816	買	連続	2,685,000	+2,395,000	+111.1%
0025	JPN	1000	0100	0110	0009	0031	0036	8253	19950827	買	連続	1,723,000	+1,457,000	+84.6%
0062	JPN	1000	0100	0110	0008	0026	0121	9984	20051021	買	連続	2,176,000	+1,444,000	+66.4%
0056	JPN	1000	0100	0110	0007	0025	0121	4689	20050812	買	連続	62,450,000	+950,000	+1.5%
0059	JPN	1000	0100	0110	0004	0016	0071	7739	20051004	買	連続	2,455,000	+845,000	+34.4%
0028	JPN	1000	0100	0110	0004	0017	0096	7203	19960219	買	連続	2,330,000	+780,000	+33.5%
0031	JPN	1000	0100	0110	0004	0008	0031	4502	19970326	買	連続	2,580,000	+760,000	+29.5%
0027	JPN	1000	0100	0110	0004	0008	0031	4502	19960522	買	連続	1,792,000	+626,000	+35.0%
0054	JPN	0010	0100	0140				998405	20030916	買	連続	978,300	+598,960	+61.1%
0053	JPN	1000	0100	0110	0004	0018	0071	7739	20021024	買	連続	1,807,000	+589,000	+32.6%
0008	JPN	1000	0100	0110	0004	0010	0049	5101	19880604	買	連続	683,000	+442,000	+64.7%
0026	JPN	1000	0100	0110	0009	0029	0168	8604	19950914	買	連続	1,962,000	+298,000	+15.2%
0022	JPN	1000	0100	0110	0004	0016	0092	6758	19940105	買	連続	2,765,000	+205,000	+7.4%
0017	JPN	1000	0100	0110	0009	0029	0168	8604	19930329	買	連続	1,892,000	+199,000	+10.5%
0019	JPN	1000	0100	0110	0004	0006	0041	3864	19940119	買	連続	582,000	+148,000	+25.4%
0063	JPN	1000	0100	0110	0001	0001	0002	1332	20060607	買	連続	586,000	+106,000	+18.1%

前頁で説明しました「鉤足判定結果の集計範囲」の変更は、この機能の表示結果に影響します。

### A. 抽出条件

下記項目を選択してから「抽出」ボタンを押下して下さい。

a) 国の選択・・・必須選択です。

b) 集計単位の選択・・・必須選択です。

Level4・5を選択した場合に青枠の明細行をダブルクリックすると集計前の明細が緑枠の中に表示されます。

c) 法則選択・・・選択は任意です。

特定の法則に関連した主計結果を参照したい時にご利用下さい。

## B. ソート機能

法則転換結果の集計情報、または転換の詳細情報に明細が表示されている時に、タイトルを押下する事で明細を並べ替える事が出来ます。

- a) 昇順：昇順で並べ替え（並べ替えの方向を固定したい場合に使用）
- b) 降順：降順で並べ替え（並べ替えの方向を固定したい場合に使用）
- c) タイトル押下で切替：タイトルを押下する度に、昇順・降順を切り替えます



## C. 表示項目の説明

### a) 法則転換結果の集計情報（青枠の部分）

- 陰陽：法則転換方向（売、買）
- 転換出現状況：2法則同時：同時、日跨り：連続
- 転換日付（年）：転換時の年
- 転換回数計：集計単位（Levelx）毎の、転換発生回数（損益含む）
- 転換回数（益）：集計単位（Levelx）毎の、利益分の転換回数
- 転換回数（損）：集計単位（Levelx）毎の、損失分の転換回数
- 転換回数率：上記3項目より、転換回数（益）と転換回数（損）の率を求め、  
利益率から損失率を減算した値。
- 転換損益率計：集計単位（Levelx）毎の、転換損益率（損益）の合計（損失も絶対値として加算）
- 転換損益率（益）：集計単位（Levelx）毎の、利益分の転換損益率の合計
- 転換損益率（損）：集計単位（Levelx）毎の、損失分の転換損益率の合計
- 転換損益率：上記3項目より、転換損益率（益）と転換損益率（損）の率を求め、  
利益率から損失率を減算した値。
- ろさ：転換に関わる法則の場合：○
- ろく：転換に関わる法則の場合：○
- ろゑ：転換に関わる法則の場合：○
- ろあ：転換に関わる法則の場合：○
- 法則詳細：ろさ第1・ろさ第2等、番号を含めた転換法則名称
- 利益xx：利益xxに該当する転換損益率（益）が何件発生しているか表したものの
- 損失xx：損失xxに該当する転換損益率（損）が何件発生しているか表したものの

#### 【転換損益率の補足】

法則転換の的中率（損益）を考える場合、銘柄によって取引額が異なる為、損益額からは正確な中率は求められないので、損益額を率に変換して使用する事にしました。  
例えば、100円で買転換し、150円で売転換した場合、転換損益率は+50%となります。

### b) 転換の詳細情報（緑枠の部分）

「鉤足分析」固有の項目を説明します。

- ロイター：ロイター業種での分類コード（国内のみ表示）
- 転換日付：法則の転換日付
- 陰陽区分：法則転換方向（売、買）
- 発生区分：2法則同時：同時、日跨り：連続
- 転換額：法則転換時の金額（2文切りの金額）
- 転換損益額：法則転換時からの損益額
- 転換損益率：法則転換時からの損益額を率で表したもの

メモリの使用量、およびパフォーマンスを考慮し、名称の表示は行っておりません。

# 『鉤足分析』の操作説明

## 3) 「銘柄分析」画面の説明

「株価収集」で収集した情報を活用したスクリーニング機能です。

表示項目、及びスクリーニング項目の詳細は、別添の「[鉤足分析の分析項目一覧](#)」をご参照下さい。

### A. 抽出条件

抽出条件には、コード系の抽出と数値系の抽出の2種類があります。

データの抽出は、入力した条件を全て満たすものが対象となり、リストに表示します。

#### a) 抽出条件1 (コード系の抽出) (機能画面の赤枠の部分)

抽出したい項目を選択して、リストから選んで下さい。

同一項目は1度しか選択出来ません。

#### b) 抽出条件2 (数値系の抽出) (機能画面の青枠の部分)

抽出したい項目を選択してから、From・Toに抽出範囲の数値を入力して下さい。

抽出方法には、3通りの方法があります。

- ・ 特定の数値以上のデータを抽出したい場合  
Fromに数値を入力すると、入力した値以上のデータを抽出します。
- ・ 特定の数値以下のデータを抽出したい場合  
Toに数値を入力すると、入力した値以下のデータを抽出します。
- ・ 特定の範囲のデータを抽出したい場合  
From・Toに数値を入力すると、入力した範囲のデータを抽出します。

同一項目は1度しか選択出来ません。



# 『鉤足分析』の操作説明

## B. 操作系（機能画面の緑枠の部分）

The screenshot shows a control panel with the following elements:

- A button labeled "抽出" (Extract) in a blue box.
- A "ソート順" (Sort Order) section with three radio buttons: "昇順" (Ascending), "降順" (Descending), and "タイトル押下で切替" (Toggle on title press). The "タイトル押下で切替" option is selected.
- A button labeled "表示項目選択" (Select display items) in a blue box.
- Two buttons labeled "条件1クリア" (Clear condition 1) and "条件2クリア" (Clear condition 2) in yellow boxes.

### a) 「抽出」ボタン

「抽出」ボタンを押下すると、抽出条件 1 および抽出条件 2 の条件を全て満たすデータを抽出し、抽出リスト（機能画面の紫枠の部分）に結果を表示します。

### b) ソート機能

抽出リストに明細が表示されている時に、タイトルを押下する事で明細を並べ替える事が出来ます。

- ・昇順：昇順で並べ替え（並べ替えの方向を固定したい場合に使用）
- ・降順：降順で並べ替え（並べ替えの方向を固定したい場合に使用）
- ・タイトル押下で切替：タイトルを押下する度に、昇順・降順を切り替えます

### c) 「表示項目選択」ボタン

「表示項目選択」ボタンを押下すると、下記の画面が表示されますので、表示したい項目にチェックして「保存」ボタンを押下して下さい。

The dialog box titled "銘柄分析の表示項目設定" contains a table with the following items:

表示有無	項目名
<input checked="" type="checkbox"/>	001 国
<input type="checkbox"/>	002 投資区分
<input type="checkbox"/>	003 市場
<input type="checkbox"/>	004 市場・詳細
<input type="checkbox"/>	005 銘柄
<input type="checkbox"/>	006 業種
<input type="checkbox"/>	007 銘柄
<input checked="" type="checkbox"/>	008 企業コード
<input type="checkbox"/>	009 株価変更日付
<input type="checkbox"/>	010 レート変更日付
<input type="checkbox"/>	011 取引通貨
<input type="checkbox"/>	012 Rate

At the bottom of the dialog are four buttons: "保存" (Save), "キャンセル" (Cancel), "全表示" (Show all), and "全非表示" (Show none).

表示項目は、1項目以上選択して下さい。

### d) 「条件 1 クリア」と「条件 2 クリア」ボタン

抽出条件 1 または抽出条件 2 に選択・入力されている値をクリアします。

## C. 抽出リスト（機能画面の紫枠の部分）

「抽出」ボタンを押下して、抽出条件 1・2 に合致するデータがあると、ここに明細が表示されます。明細をダブルクリックすると、「鉤足グラフ確認」画面に遷移します。

## D. ヒント（表示スピードを上げる）

全ての項目を表示対象として大量のデータを表示させると、非常に時間が掛かります。

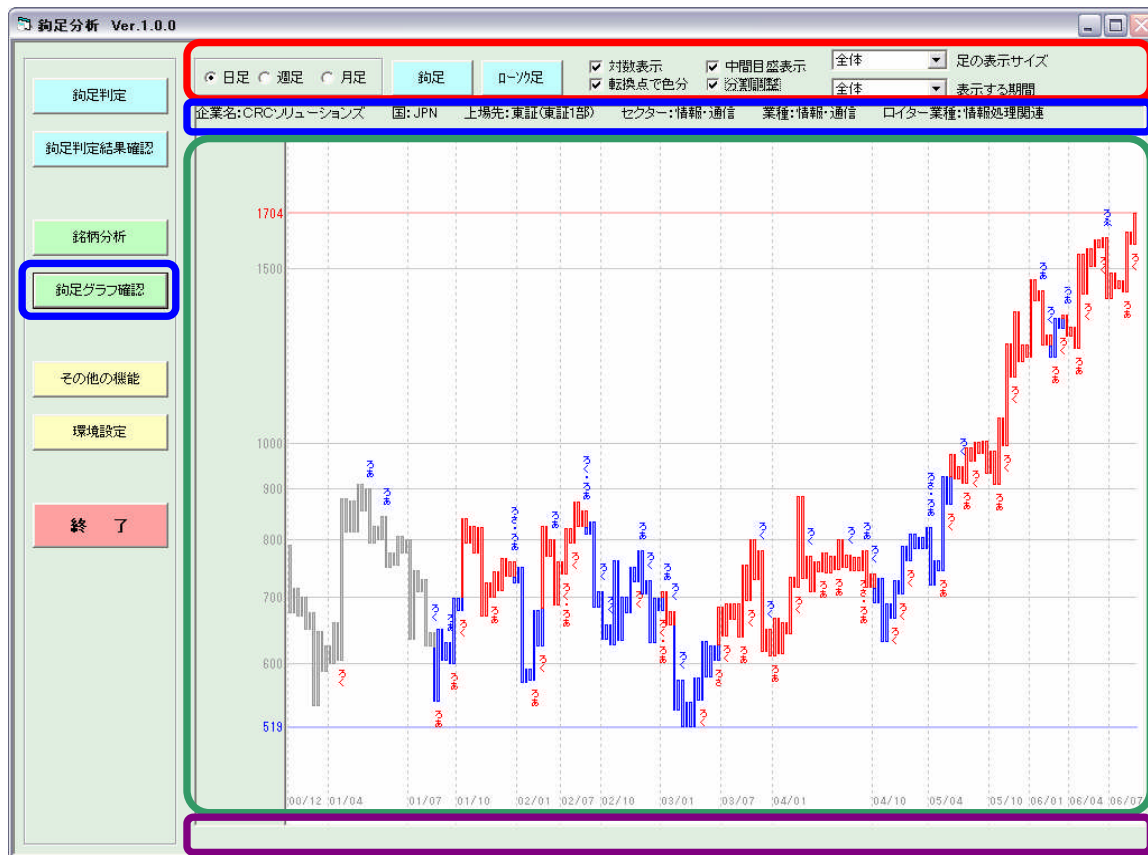
項目の表示・非表示に関わらず、抽出条件では全ての項目が使用出来ますので、必要な項目だけ表示させる様にする则表示速度が速くなります。

# 『鉤足分析』の操作説明

## 4) 「鉤足グラフ確認」画面の説明

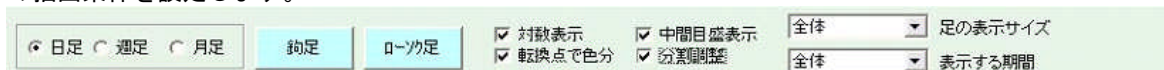
柴田野線の鉤足法則を確認する為のグラフ表示機能で、下記の操作が行われた場合にグラフ表示します。

- ・「鉤足判定結果確認」画面で、転換の詳細情報の明細がダブルクリックされた場合
- ・「銘柄分析」画面で、抽出リストの明細がダブルクリックされた場合



### A. グラフ描画条件（機能画面の赤枠の部分）

グラフの描画条件を設定します。



#### a) 足の選択

表示する足を選択します。「株価収集」では、日足しか収集していませんが、週足・月足を計算する機能を持っています。

#### b) ボタン

グラフは「鉤足」と「ローソク足」の表示が可能です。表示したいグラフのボタンを押下して下さい。

#### c) 対数表示

グラフを対数表示に切り替えます。

#### d) 転換点で色分

鉤足グラフを表示する場合、転換点でグラフを色分けします。

(グレー：転換方向未確定、 赤：買転換、 青：売転換)

#### e) 中間目盛表示

グラフのメモリ表示の間隔が広く、金額が解りづらい場合に、中間メモリを表示します。

#### f) 分割調整

ローソク足を表示する場合、現在の金額に合わせて金額を計算し、グラフを表示します。



# 『鉤足分析』の操作説明

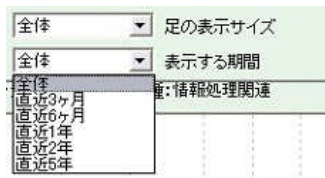
## g) 足の表示サイズ

表示データが多い為にグラフが細かくなって見づらい場合に、足の幅を指定して見やすくします。  
この時、一画面に表示データが収まりきらない場合は、下段（紫の枠の部分）にスクロールバーが表示されます。



## h) 表示する期間の指定

直近から、指定範囲のデータを表示します。



## B. 企業名称の表示部（機能画面の青枠の部分）

グラフ表示中の企業名称等を表示します。

## C. グラフ表示部（機能画面の緑枠の部分）

鉤足グラフ、またはローソク足グラフを表示します。

## D. スクロールバー表示部（機能画面の紫枠の部分）

「足の表示サイズ」の指定で、全体以外を選択し、且つ画面上に表示し切れない場合にスクロールバーが表示されます。

## D. 画面サイズを変更したら

## E. ヒント（鉤足の表示に関して）

鉤足グラフを表示する場合は、常に最新の「鉤足判定」画面の条件を利用して、鉤足判定を行い、鉤足グラフを表示しますので、「鉤足判定」画面の条件変更して、「鉤足」ボタンを押下すれば直ぐに結果を確認出来ます。

## F. ヒント（画面サイズを変更したら）

画面サイズを変更した場合は、再度「鉤足」ボタン、または「ローソク足」ボタンを押下して下さい。画面サイズに合わせてグラフを再描画します。

以上で「鉤足分析」の説明は終わりますが、ホームページのFAQも更新して行きますので、こちらもあわせてご参照下さい。

ホームページ

株価（株式情報）の自動収集と柴田野線の鉤足分析ツール

<http://www.geocities.jp/kagibunseki/Index.html>

# 『鉤足分析』の分析項目一覧

「銘柄分析」画面の表示項目を説明します。

抽出条件 1 : ○が付いている項目は、抽出条件 1 で使用可能な項目

抽出条件 2 : ○が付いている項目は、抽出条件 2 で使用可能な項目

項目名 : 画面の項目名

項目説明 : 「鉤足分析」ツール固有の項目、または説明が必要な項目のみ記載

網掛けの項目は、柴田野線の鉤足判定に関する項目です。

各項目の表示内容は「株価収集」ツールの収集に依存します

各項目の表示内容は、情報提供サイトに依存しますので、表示内容を保障するものではありません。

No.	抽出条件1	抽出条件2	項目名	項目説明
1	○		国	
2	○		投資区分	
3	○		市場	
4	○		市場・詳細	
5	○		セクター	
6	○		業種	
7	○		ロイター	
8			企業コード	
9		○	株価変更日付	
10		○	レート変更日付	
11	○		取引通貨	
12			Rate	
13		○	取引日付	
14		○	取引値	
15		○	出来高	
16		○	始値	
17		○	高値	
18		○	安値	
19		○	概算購入価格	
20		○	前日日付	
21		○	前日差額	
22		○	前日比率	
23		○	前日終値	
24		○	5日移動平均値	
25		○	5日移動平均値乖離	
26		○	5日移動平均量	
27		○	5日移動平均量乖離	
28		○	25日移動平均値	
29		○	25日移動平均値乖離	
30		○	25日移動平均量	
31		○	25日移動平均量乖離	
32		○	75日移動平均値	
33		○	75日移動平均値乖離	
34		○	75日移動平均量	
35		○	75日移動平均量乖離	
36		○	転換日付	直近の鉤足法則転換日付。
37	○		転換方向	鉤足法則の転換方向（売、買）。
38	○		転換状態	2 法則同時：同時、日跨り：連続。
39			法則	鉤足法則転換時の法則名称（ろさ、ろく、ろゑ、ろあ）。
40		○	法則転換価格	鉤足法則転換時の価格。
41		○	法則転換損益	直近の鉤足法則転換時の価格と、現在の株価の差額。
42		○	法則転換損益率	法則転換損益を率で表したもの。
43		○	法則出現個数	直近の鉤足法則転換時に出現した法則の数。 （ろさ第 1・ろさ第 2 等、番号を含めた転換法則の個数）
44		○	転換回数計	該当の銘柄で、今までに発生した、転換発生回数（損益含む）。
45		○	転換回数（益）	該当の銘柄で、今までに発生した、利益分の転換回数。
46		○	転換回数（損）	該当の銘柄で、今までに発生した、損失分の転換回数。
47		○	転換回数率	上記 3 項目より、転換回数（益）と転換回数（損）の率を求め、利益率から損失率を減算した値。

# 『鉤足分析』の分析項目一覧

「銘柄分析」画面の表示項目を説明します。

抽出条件1：○が付いている項目は、抽出条件1で使用可能な項目

抽出条件2：○が付いている項目は、抽出条件2で使用可能な項目

項目名：画面の項目名

項目説明：「鉤足分析」ツール固有の項目、または説明が必要な項目のみ記載

網掛けの項目は、柴田野線の鉤足判定に関する項目です。

各項目の表示内容は「株価収集」ツールの収集に依存します

各項目の表示内容は、情報提供サイトに依存しますので、表示内容を保障するものではありません。

No.	抽出条件1	抽出条件2	項目名	項目説明
48		○	転換損益合計	該当の銘柄で、今までに発生した、転換損益の合計。 (損失も絶対値として加算)
49		○	転換損益(益)	該当の銘柄で、今までに発生した、利益分の転換損益の合計。
50		○	転換損益(損)	該当の銘柄で、今までに発生した、損失分の転換損益の合計。
51		○	転換損益率	上記3項目より、転換損益率(益)と転換損益率(損)の率を求め、 利益率から損失率を減算した値。
52		○	設立年月日	
53		○	上場年月日	
54		○	決算年月	
55			中間配当月	
56			代表者名	
57			本社所在地	
58		○	単元株数	
59		○	発行済株式数	
60		○	流通A株	
61		○	流通B株	
62		○	流通A株比率	
63		○	流通B株比率	
64		○	一株配当	
65		○	配当利回り	
66		○	株価収益率	
67		○	一株利益	
68		○	一株株主資本	
69		○	株主資本利益率	
70		○	時価総額(百万)	
71		○	直近分割発生日	
72			分割変更内容	
73		○	純資産倍率	
74		○	株主資本比率	
75		○	総資産利益率	
76		○	調整一株益	
77			連結事業	
78		○	円取引値	「取引値」の円換算項目
79		○	円始値	「始値」の円換算項目
80		○	円高値	「高値」の円換算項目
81		○	円安値	「安値」の円換算項目
82		○	円概算購入価格	「概算購入価格」の円換算項目
83		○	円前日差額	「前日差額」の円換算項目
84		○	円前日終値	「前日終値」の円換算項目
85		○	円5日移動平均値	「5日移動平均値」の円換算項目
86		○	円25日移動平均値	「25日移動平均値」の円換算項目
87		○	円75日移動平均値	「75日移動平均値」の円換算項目
88		○	円一株配当	「一株配当」の円換算項目
89		○	円一株利益	「一株利益」の円換算項目
90		○	円一株株主資本	「一株株主資本」の円換算項目
91		○	円時価総額(百万円)	「時価総額(百万円)」の円換算項目

# 『株価収集』と『鉤足分析』の処理時間

## 1. 実行環境

OS	Windows XP SP1
CPU	Pen4 3GHz
メモリー	1GB
HDD	内臓 SATA 7200rpm
ネットワーク	ADSL (実測) 下り 8000 Kbps 上り 900 Kbps

## 2. 処理時間

ツール	処理	国	タスク数	処理時間(分)	補 足
株価収集	為替情報		10	1	
	企業一覧	国内	10	1	
		米国	10	2	
		中国	10	1	
	企業情報	国内	10	5	
		中国	10	3	
	マーケット速報	国内	10	6	株価時系列データを作成しない場合。
		米国	10	26	
		中国	10	8	
		国内	10	22	株価時系列データを作成した場合。
		米国	10	43	
		中国	10	8	
	ロイター業種	国内	10	7	
	株価時系列データ (日々の更新)	国内	10	27	「鉤足分析」用に移動平均の計算を行っている為、 単純なデータ収集に比べ、処理時間が掛かります。
		米国	10	60	
		中国	10	7	
鉤足分析	罫線・鉤足	国内	10	18	
		国内	5	15	
		米国	5	26	
		中国	5	3	

・処理時間は、ご利用のPC環境により変化します。

また、「株価収集」の場合は、収集した時間帯によっても変化します。

・「鉤足分析」の処理時間について

タスク最大数を10と5で計測した場合を見ると、10よりも5の方がパフォーマンスが良い事が解ります。少々技術的な話になりますが、「鉤足分析」は、インターネットとの通信が発生せずPCの待ち状態が無い為、PCの性能がそのまま処理スピードに現れます。特にCPUの処理能力とHDDのアクセススピードが影響しますので、初めて処理する場合は、タスク最大数を「株価収集」の半分以下に設定する事をお勧めします。

**タスク最大数の初期設定値を幾つにしたら良いか解らない場合は、タスク最大数を2程度から初めて見て下さい。**